

例会報告 Rotary



2022-2023年度
RIテーマ

第2686回例会
令和4年11月18日

- 例会日 毎週金曜日 12:30~13:30
- 例会場 高山市花里町3-33-3 TEL 34-3988
大垣共立銀行高山支店 4F
- 会長 垣内 秀文
- 幹事 大村 貴之
- 会報委員長 中島 一成

イマジン
ロータリー AG訪問・
クラブアッセンブリー

<会長の時間>

先週報告が有りましたが、11/10に由緒ある歴史を有する紀尾井町を拠点とする東京紀尾井町RCへ行って参りました。このあたりは歴史的な旧跡が多く、史実にも登場する土地柄です。皆様ご存じのように、紀尾井町とは紀州徳川家中屋敷、尾張徳川家中屋敷、彦根井伊家中屋敷に由来しており、各家の一字をとってできた町名です。紀州徳川家の屋敷跡は現在のグランドプリンスホテル赤坂の入口・弁慶橋付近に、尾張徳川家の屋敷跡は現在の上智大学、井伊家の屋敷跡は紀尾井町ロータリークラブの例会会場となるホテルニューオータニ付近にあり当時の面影も各所にみられるそうですが、今回は何せ、移動時間11時間、滞在時間2時間の強行スケジュール、私は大村幹事の安全運転で当日早朝高山を出発しました。



先発隊の親睦ゴルフメンバー内田幸洋さん、鴻野幸靖さんは2泊3日で、同じく先発隊のゴルフのみで親睦を深めた田中武さんは1泊2日で帰路は大変だったそうで、あと下屋勝比古さん、向井公則さん、堀幸一郎さんが各所から例会会場へ集合と12時ころ皆さんと合流し、昨年に引き続きのメイクアップは参加者7名でした。ニューオオタニはさすが素晴らしいのですが、とにかく広すぎで入るべき入口駐車場を間違え、ガーデンコートへイン、電話で「地下駐車場にいるよ」と言った鴻野さんはいません。スタッフに手取足取りレクチャーいただき何とか例会会場に到着できましたが、まさに田舎者が館内で迷子の状況でした。

会場受付でメイクアップ料の支払いと何と5500円ヒュー！しかも支払いが端末装備でカードは勿論、コード決済もOK！キャッシュレスの波はここまで及んでいるのかと再認識した次第でした。例会前にはレストルームにて紀尾井町の皆さんと名刺交換等々させて頂き名刺入れがパンパンになりました。又我がクラブで昨年会員誕生日お祝いとして頂いた観光名刺が非常に好評でして、紀尾井町クラブでも只今作成中だそうです。しっかりと我がクラブも良い影響を与えているようです。

創立1992年、会員数81名のうち約30%の24名が女性会員、まさに噂に聞く「香りの良い」クラブでした。昨年ZOOMで会員増強をテーマに卓話いただいた大竹章裕さん、向井さんの友人の久保田優子さんともお話しさせていただきましたが、直接会ったことは一切ないにも係わらず、ZOOM例会のお陰で何か妙に親近感が沸きました。会場は8人掛け丸テーブルが10卓ぐらい各テーブルに女性会員が1~2人座り華やかさも増し、メイクアップも併せて80人位の出席者で会場は大賑わいで盛り上がりしました。

点鐘後、SAAの司会進行が始まりました「ごきげんよう」と挨拶をされた女性会員ソングリーダーにより「君が代」「我らの生業」を斉唱し、ユーモアたっぷり卓越した話術の重鎮会員による「四つのテスト」唱和、食事が始まり、我が高山西クラブの会長挨拶で出入り含め所要2分も頂き、冷や汗を一杯かいた後にやっと食事をとらせていただきました。フレンチランチコースで味は勿論、最高でした。間もなく会長の時間が始まりましたが、ホテルスタッフの食事配膳の行き来が激しく食器の重なる音も結構大きく、少し集中力

が欠けるかなとも思いましたが、これが普通なのか特別プログラムなのか、通常例会時にメイクしなければわかりません。ただ例会進行もそのクラブの色、味が有るのは面白くもあり、新鮮さを感じる場面でもありました。

当日は先ほども申し上げましたが紀尾井町クラブさんのお計らいで2580地区ガバナー公式訪問の日を設定していただき、嶋村ガバナーの卓話も拝聴させていただく事が出来ました。9月30日の2630地区高橋ガバナー公式訪問、10月27日の2770地区細瀨ガバナー非公式訪問に続き二ヶ月足らずで3地区のガバナーの卓話を拝聴出来ることに只々感謝です。嶋村ガバナーはロータリー歴15年、1963(昭和38年)7月生まれの58歳と申されていましたが、よく見ると実は1歳サバ読みされていて59歳で私の1歳下です。それにしても最近のガバナーは若いです。ガバナーと成る為に生まれてきたようなもので、これはその方の宿命でも有ると感じた次第です。

ガバナー卓話は、お父様がお亡くなりになられて事業をご承継なさったから始まり、東京東江戸川ロータリークラブへのご入会された経緯、ガバナーとなられてからのロータリー活動への想い、そこから派生した行動の数々をお話し頂きました。

重点事項として「未来を見据えた新しい研修体系の構築へ」クラブレベルでのロータリーの研修を強化・充実すると共に「元気なクラブづくり」を推進する、ロータリアン自らが成長する機会としてロータリアンのリーダー研修所の受講を奨励する、入会2年以内の新入会員向けに「ハローROTARY」を開催しロータリーの基本的研修を行う等と、かなり割愛させて頂きましたが、このような内容だったと思いますが、3地区のガバナーが言いたかったことは「ロータリアンの成長無くして、ロータリーの成長はない」と当たり前ですが共通していました。

今回の紀尾井町クラブメイクアップを通じて体験させて頂きました事を今後のクラブ運営に役立てていきたいと思ひます。是非来年も又皆で行きましょう。

<幹事報告>

◎高山ロータリークラブ ゴルフ部長より

・「高山6クラブ親睦ゴルフコンペ」ご参加の御礼

◎高山市PTA連合会より

・令和4年度高山市PTA連合会研修大会(動画配信)について

日程 11月20日(日)~11月30日(水)

内容 ・講演会「子どもも大人も幸せに生きる」

講師: NPO法人風の学校理事長 片野晶子氏

・令和4年度PTA功労者表彰式

視聴 チラシのQRコードより

<例会変更>

高山 … 12月22日(木)は忘年例会のため18:30~角正に変更
12月29日(木)は、定款により 休会

高山中央 … 12月19日(月)は忘年例会のため18:30~銀風に変更
12月26日(木)は、定款により 休会

例会報告

<受贈誌>

高山RC (会報)、下呂RC (会報)、米山記念奨学会 (ハイライトよねやま Vol272)

<出席報告>

出席	Make-Up	出席者数	会員数	出席率
30名	-	30名	36名	83.33%

地区職業奉仕セミナー報告

田中 晶洋

高橋ガバナーの「職業奉仕は日本のロータリーの心と原点」と題してお話がありました。「Service (サービス)」を「奉仕」と訳したことに問題がある。ここまでは分かっていたのですが、ココからのお話が私には難しすぎて、社会奉仕と職業奉仕の活動の違いが今一つ分かりませんでした。私なりに理解してきたことを報告させていただきます。

そもそもサービスという言葉が出てきたロータリーが生まれた時代背景として、当時のシカゴは荒廃していて、職業倫理、道徳心が欠如していた状態であった。騙すより騙される方が悪い、法を犯さなければ何をやっても良い。同業者は全てライバル、同業者が潰れることを喜ぶ。というような風潮の中生まれたロータリーで1910年に皆さんも聞かれたことがあるシェルドンの「最もよく奉仕する者(が)最も多く報いられる」を発表。

職業奉仕の考えは日本が元祖。「渋沢栄一の道徳経済合一説」経営者は利益を独占するのではなく、従業員や取引に関係する人たちと適正に再分配することが継続的な利益を得る方法であることを心得ること。「近江商人の三方よし」。職業奉仕理念である。主体は個人。職業人の心構えをうたっている。

国際RIで言われる「超我の奉仕」や「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」相手のことを思いやり、相手に対するサービスを自己の利益や都合より優先させよう。利益はサービスの結果である。相手の為に最善のサービスをすれば、結果として最大の利益(金銭、満足感、幸福感、信頼、信用)が得られる。利益を求めて奉仕するのではなく、他人の為に役立つことが自らの幸せと事業の成功につながる。主体は、個人、クラブの両方にある。

私個人の感想としては、日本人は昔から誰が見ていなくてもお天道様が見ているなどと育てられ、個人であっても倫理的・道徳的に振舞える民族ですが、世界的に見るとそうでない民族が殆どで、公的な監視の目がないと、どんどん違う方向へ進んでいくから、クラブとしてこういう方向で行きましようとなったのではないかなと感じました。

基調講演では株式会社インフォファーム会長の辻正様の講演がございました。御年94歳とは思えないほどのパワフルな方で、ジョークを連発されたのですが、レベルの高いジョークで半分くらい私にはわかりませんでした。「徳は孤ならず必ず隣人あり」という演題でした。岐阜流通センターの立ち上げに関わってこられた方で、国から147億融資を受けてとにかかった事業で、とにかく人が良いと思うこと、人が助かることを必死でやって来たという方のお話しでした。そのお話しの中で印象に残ったのが、「良いことがあったら徳を使ったらと思え。2つ徳を使ったら3つ徳を積み。そうしないと後々困ることになる。」というお話しでした。この徳を積みという思想が職業奉仕の思想そのものではないかなと思いました。

<ガバナー補佐ご臨席クラブアッセンブリー>

濃飛グループガバナー補佐 奥村 幸夫 様

皆さん、こんにちは。高山へ7月から通っている訳ですけれども、今日で8回目となりました。最初は遠いなあと感じていたんですが大分慣れまして、ドライブがてら行こうか、と言う感じで来られるようになりました。

先般の濃飛グループIM、そして地区大会。また

ガバナー公式訪問については本当に色々とお世話になりました。IMも盛大に通常通り開催する事が出来ました。そして地区大会においてもRI会長代理歓迎晩餐会も総勢200名程で、例年通り、3年前の通りのような開催ができ、本当にロータリーらしい親睦ができたなと思っております。

高山西さんにおかれましては、平素ロータリーの活動目標に対して非常にご尽力をいただきましてお礼を申し上げます。先般の職業奉仕セミナーの前に財団のセミナーもありましたが、高山西さんは177ドルの年次寄付で濃飛グループトップ、岐阜地区においても上位の金額です。ご尽力いただきまして本当にありがとうございます。地区目標の中でマイロータリー登録がございまして、年度末には何パーセントとなっているか報告いただき集計をしたいと思っております。もう一つの地区目標である会員増強についても、2名増強ということで、非常に力を入れていただきありがとうございます。濃飛クラブのメンバーの平均年齢は高山が63歳。中央さんが62歳高、高山西は62歳。そして下呂クラブが61歳。美濃加茂クラブが60歳で私の可児クラブは56歳となっております。美濃加茂クラブが4名増強し平均年齢がずいぶん下がってきたなと思っております。ベテランメンバーの皆さんは、本当に大事な、貴重な先輩方ですが、やはり若いメンバーを入れて活性化を図る事も必要かなと思っておりますので、是非とも宜しくお願ひしたいと思います。

当月行われますガバナー杯チャリティーゴルフの予選、濃飛グループ予選にもご参加をいただきまして、本当にありがとうございます。愛岐カントリーでの開催で、大変朝早く申し訳ないですが、どうかよろしくお願ひ申し上げます。当日はですね、DEIのセミナーと被っておりますけれども、ご活躍を期待申し上げます。ポリオ根絶の街頭募金の活動もその時に行ないたいと考えておりますのでよろしくお願ひいたします。

これから高山地区では雪が降ることになるかと思いますが、次年度の役員ももう決まっていると思っておりますけれども、きちんと引き継ぎをしていただき、今後も元気よくロータリー活動に邁進していただきたいと思っています。皆様がますます活躍されることを祈念申し上げて挨拶とさせていただきます。本日はありがとうございました。

S. A. A 米澤 久二

例会等が秩序正しく楽しい雰囲気運営できるように努めて参りました。

新しい試みとしてネームバッジを、アイウエオ順に配置するようにしました。今期のS. A. Aのスローガンは「S. A. Aは早めに来て遅めに帰る」です。



残りの期間皆様のお力添えよろしくお願ひいたします。

例会報告

クラブ管理運営部門長 田邊 淳

クラブ運営部門は、会報雑誌広報委員会委員長に中島一成さん、親睦活動委員会委員長に堀幸一郎さん、出席プログラム委員会、委員長に堀和信さん、ニコニコ委員会委員長に田中武さんと、当部の4つの委員会には、当クラブで最強メンバーの委員長です。

当部門の目標は「クラブ活動が有意義でスムーズに行われるために、各担当委員会において着実な計画実行を行う。また部門全体としてそのフォローと支援を行う」としています。前半は概ね計画通り遂行しており、直近では親睦委員会のクリスマス例会、新年家族例会が計画されています。

課題として、長期不在メンバーがいることから、当番表のリバイスを今後検討致します。



会員増強部門長 遠藤 隆浩

この間美濃加茂で行われたインタシティミーティングは大変たのしいものでした。武田先生の講演が面白く、そしてなんといっても我がクラブの重鎮狭土さんの音頭でめでたが合唱され感激しました。そういった楽しいロータリーですが現在西クラブの会員数は40名をきっています。増強委員長の松田さんのお骨折りで今期は2名の方に入会していただきました。

今後の対策といたしまして、他クラブが行動を起こす前に候補者を飲み誘ったり例会を体験していただくといった早めの行動をこころがけ、また現在止まっている候補者名簿の作成をおこなうなどを考えています。

それと増強とともに現会員の退会防止に努めることも大事だと思えます。ロータリークラブの魅力を確認し魅力あるクラブ作りをしながら今後会員数を伸ばしていきたいです。

奉仕プロジェクト部門長 伊藤 松寿

①青少年奉仕委員会 … 9/16 松倉中学校において「キャリア教育を考える会」出前講座を開催。どんな仕事をしているか、高山で働くことのこだわりや誇り・どんなことを目指して高山で事業をしているか、中学生で身につけておくべき力、等について12名の会員が講話を行った。

②ロータリー財団委員会 … 財団への寄付を会員1名あたり150ドルをお願いする

③社会奉仕委員会 … 8月に予定していたソフトミニバレー大会はコロナ下にて延期



奥村 様 ご講評

講評とは申し上げにくいですが、例えば奉仕プロジェクト部門はいわゆる四大奉仕があってプロジェクトという名にマッチするわけですが、ロータリー財団とか米山奨学は、支援プログラムという捉え方もあるのかなという風に思います。決して間違っているという話ではなく、やり方であるというふうに思います。ストレッチ体操については中央さんと西さんはされていますが、他のクラブでは見たことはございません。いいとか悪いではなくて、各クラブのそのやり方、歴史・特徴があると言うことであると思えます。



先般の地区大会で高山中央さんがロータリー賞を受賞されましたが、毎年とってらっしゃる。クラブの活動計画書の中にロータリー賞のページを挙げて、メンバー全員に共有し、当たり前のように取るんだという風にやっつけて、本当に良いところだと、いい所は真似すればいいのでは、と思っております。ぜひとも次年度、濃飛クラブ全部がロータリー賞をとる目標に向かっていくとクラブは活性化していくのではないかとこのように思いますので、次年度の会長さん宜しくお願いしたいと思います。

先程田中さんから職業奉仕の話がございました。一つの考え方で、例えばこのクラブにも税理士さんとか弁護士さんとかお医者さんとかいらっしゃいますが、例えば、公的な無料相談で、弁護士さんが法律相談、税理士さんが税務相談をするというのは職業奉仕ではなくて社会奉仕である。みんなに無償でやることだから社会奉仕、という考え方で。個々にきちんと、いい仕事をしてしっかり収益を上げて皆さんのええためになるというのが職業奉仕。こういった考え方もご理解いただければと思っています。ありがとうございました。

<ニコニコボックス>

●濃飛グループガバナー補佐 奥村 幸夫 様

本日はお世話になります。よろしくお祈り致します。

●垣内 秀文さん、大村 貴之さん

濃飛グループガバナー補佐 奥村 幸夫 様、ご来訪ありがとうございます。ご指導よろしくお祈り致します。本日はクラブアセンブリーです。各部門長の皆さん、発表をよろしくお祈り致します。

●田中 晶洋さん

先日岐阜グランドホテルで開催されました職業奉仕委員会研修セミナーに垣内会長と参加してきました。内容につきまして報告させていただきます。

●垣内 秀文さん

日曜日に「孫2号」誕生しました。少し大きめの3600gの男子です。本日無事退院で、里帰りして1カ月程いるみたいです。ワクワクしていますが反面、うちの家内は「よそへ行ったり飲み行ったりした後は2~3日自主隔離をお願いします」との事、神経をとがらせています。改めて清く正しく生活したいと思えます。

●井辺 一章さん

妻の命日にクラブよりお心遣い頂きありがとうございました。

●野尻 陽子さん

体調不良でしばらくお休みし大変申し訳ありませんでした。また会よりお見舞いまで頂き恐縮しております。ありがとうございました。

●田近 毅さん、内田 幸洋さん、古橋 直彦さん、米澤 久二さん、田中 武さん、遠藤 隆浩さん、門前 庄次郎さん、鴻野 幸泰さん、向井 公規さん、大村 貴之さん、杉山 和宏さん、中島 一成さん、堀 幸一郎さん

4年に1度のサッカーW杯がよいよ開幕します。日本はなかなか厳しい予選グループとなりましたが、なんとか本戦に勝ち上がって欲しいものです。また今大会より、初めて女性審判6人が選出されました。その中に日本の山下良美さんがいます。選考基準に体力・技術力も含め、男女の区別はありません。これは快挙です。プレッシャーを乗り越えて頑張ってください。